

質 疑 要 旨

安実隆直議員 No. 1

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>1 営農再開に向けた支援について</p> <p>(1) 営農の早期再開に向け、地震による被害状況を把握するための調査や専門家の確保、施設の修繕業者の斡旋等の対応状況を聞く。</p> <p>(2) 復旧のための測量設計業者が不足しており、金沢・加賀地区はもとより、県外からの支援も必要と考えるがどうか。</p> <p>(3) 農業法人や集落営農組織、農作業受託組織の設立など、多様な担い手の確保に向けた対策を聞く。</p>	<p style="text-align: center;">知 事 農林水産部長</p>
<p>2 農地・農業用施設の小規模修理について</p> <p>(1) 多面的機能支払交付金による支援について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 県内で多面的機能支払交付金による支援を受けている活動組織の団体数を地域別に聞く。</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 能登半島地震の被害を踏まえ追加的に支援を受けた活動組織の団体数を聞く。また、その数は被災地域の活動組織の中でどれだけの割合を占めるのか。</p> <p style="padding-left: 20px;">ウ 多面的機能支払交付金は、復旧活動に有効に活用されているのか。</p> <p>(2) 国の補助対象とならない小規模な災害復旧を支援する「農地等手づくり復旧支援事業」の取組状況を聞く。</p> <p>(3) 来年の作付けに向け、今後もきめ細かな復旧支援が必要と思うがどうか。</p>	<p style="text-align: center;">知 事 農林水産部長</p>
<p>3 酪農支援について</p> <p>(1) 地震被害からの復旧を後押しするためにも、より手厚い支援が必要と考えるがどうか。</p> <p>(2) 6月補正予算に盛り込んだ配合飼料価格の高止まりを踏まえた支援内容を聞く。</p>	<p style="text-align: center;">知 事 農林水産部長</p>
<p>4 流域治水対策について</p> <p>(1) 昨年5月、県内の182の小規模河川を対象とし、想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域を指定し公表されたが、どのような基準で対象となる小規模河川を選定したのか。</p>	<p style="text-align: center;">知 事 農林水産部長 土 木 部 長</p>

この質疑要旨は、6月10日午後5時25分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨

安実隆直議員 No.2

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>(2) 洪水ハザードマップの見直しに取り組む市町に対し、どのような支援を行っているのか、見直しの状況と併せて聞く。</p> <p>(3) 能登半島地震による地形の変化等は洪水ハザードマップの見直しに影響を与えるのか。</p> <p>(4) 市町における内水浸水想定区域図や内水ハザードマップの作成の状況を聞く。</p> <p>(5) 内水ハザードマップについて、平常時から住民が洪水ハザードマップとの関連などの重要性を十分に理解できるよう周知する必要があるが、その方策の所見を聞く。</p> <p>(6) 昨年度、県では白山市において田んぼダムの試験田を設置したが、その効果検証について聞く。</p> <p>(7) 田んぼダムを実施するには、調整板の設置や降雨時の巡回作業などの農業者の協力が必要だが、どのような支援制度があるのか。</p> <p>(8) 田んぼダムの普及促進を図るためには、支援内容を見直す必要があると思うがどうか。</p> <p>(9) 調整池の機能維持のため、所有者に対する適正な管理義務は課せられているのか。また、日常点検や管理者等による検査規定はあるのか。</p> <p>(10) 県として、内水氾濫に影響を及ぼす調整池の設置後の確認検査や巡回点検等を実施してほしいがどうか。</p>	

この質疑要旨は、6月10日午後5時25分に取りまとめたものです。